部　会　報　告

住友重機械建機クレーン㈱　名古屋工場　見学会報告

機械部会　基礎工事用機械技術委員会

1. はじめに

機械部会の基礎工事用機械技術委員会では，年会行事として現場見学，工場見学を毎年実施しております。今回愛知県大府市の住友重機械建機クレーン㈱名古屋工場を見学したので紹介いたします。

参加者は事務局も含めて 16 名でした。

2. 見学会スケジュール：令和６年６月５日（水）

13：00　大府駅集合
13：30　挨拶　会社　工場説明
14：00　工場見学
15：30　質疑応答
16：30　終了

3. 見学会内容

2018 年に日立住友重機械建機クレーン㈱から住友重機械建機クレーン㈱へ社名変更しクローラクレーンを主力生産している。

生産拠点は愛知県大府市と愛媛県西条市の二拠点である。

名古屋工場は 110,000 m^2 の面積を有しており，現在，月産 30 台の生産体制をとっているとの事。

現在の出荷は海外，国内の比率は約 6：4 で海外比率の方が高く，海外は北米向けが好調である。

現状納期は受注後約 1 年程度との事でサプライチェーン問題の影響は少ないようであった。

商品ラインナップは 23 機種あり，その中でも基礎工事専用機械としてはアースドリルの SDX シリーズ 3 機種がある。また地盤改良機の SGX120S-2 や港湾仕様の SQX500HD 等の特殊機も取り扱いがある。

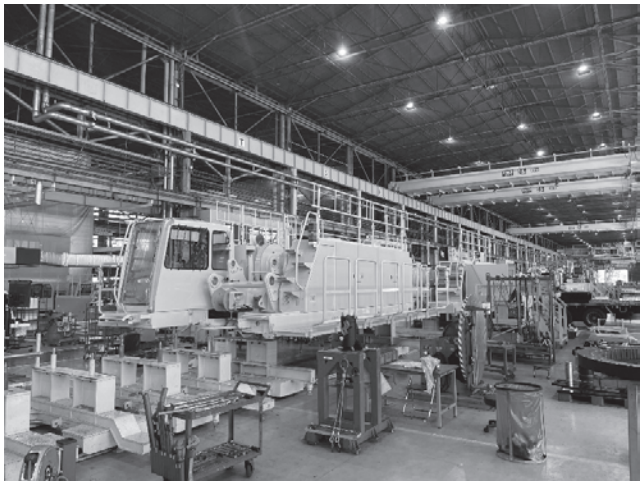
4. 工場見学とデモンストレーション

組み立て順に沿ったライン工程を見学した（**写真**―3，4）。足回りから上物そして一体にして塗装の工程

写真―１　クローラクレーン SCX1200-3

写真―２　工場建屋外観

写真―３　組立現場１



写真―４　組立現場２

写真―５　記念撮影

図―１　クレーン起立外観検査 C-SAI

までを見学させて頂いた。工場内は整然としており，小さなボルトから組み立て工具に至るまでしっかりと管理されている様子が伺えた。ちなみに建屋内は全てエアコンが装備され，夏季の作業環境もしっかり整っており，屋外作業時は１時間に１回の休憩が決まっていて，熱中症対策グッズや休憩室等が充実している。全工場建屋にエアコンを装備したところ離職率が如実に減少したとの事であった。

今後の参考とさせていただきたい。

工場見学のメインイベントとしてクレーン起立外観検査 C-SAI のデモンストレーションを見学した。

クレーン外観検査 C-SAI は稼働現場に則した簡単かつ安全を開発コンセプトとしていて，以下４つの要件を満たす仕様となっている。

1. クローラクレーンの稼働現場に則した仕様
2. 目視同等の画像を撮影する事
3. 事前準備を少なく素早く自動飛行が可能である事
4. 自動飛行の状態を常に監視し異常を即座に検知

起立姿勢のまま約２m の距離を数センチの精度を維持してドローンを自動飛行させ隅々まで撮影し，目視同等レベルの点検を可能とした。

撮影時間は 350 t つりクローラクレーン SCX3500-3 タワー仕様機で約１時間。お昼休み時間内に点検を終えることが出来て工期に与える影響も飛躍的に削減できるとの事。

最後に住友重機械建機クレーン㈱名古屋工場の皆様には当委員会の見学を快くお受けいただき工場全般丁寧に説明頂いた事に感謝し，厚く御礼申し上げます。

JCMA

［筆者紹介］
織田　秀一（おりた　ひでかず）
鉱研工業㈱
営業本部　副本部長
兼　東日本事業部長
（一社）日本建設機械施工協会
機械部会　基礎工事用機械技術委員会
委員